

～厚真フォト～ マチの記憶に残る写真

見つけようマチの『とっておき♡』

農はもちろんのこと、それだけにとどまらず、マチの風景やイベント、生活しているなかで見つけた『厚真町の魅力』。厚真を知らない人がその写真を見て、思わず立ち寄りたくなるような、そんなマチの『顔』をこれから写していきたいませんか？

普段から写真が趣味の方も、毎日暮らしているマチの中には絵になる風景が実はたくさんあり、少し目線を変えただけで、いつもの景色は変わっていくものです。

早起きをする、いつもと違う道を通る、天気の良い日に散歩をしてみる。そういった些細なことで見つけられるかもしれない『マチのとっておき』。この冬、寒いからと家にこもりず、カメラを持って外に出かけましょう！

マチの顔



田植え



冬のイベント



夏空



親水公園のコスモス



黄金色に輝く稲穂



熱演



サーフボードと
浜厚真海岸

GO OUT ! WITH CAMERA



写真

GO OUT ! WITH CAMERA



デジタルカメラ、カメラ付き携帯の普及により、私たちの日常生活に欠かせなくなった『写真撮影』…。

特集 レンズ越しに見えるマチ

寒くなり、家に閉じこもりがちな毎日。
この冬、せっかくだから外に出てレンズ越しに、
私たちの住む厚真のマチを見に出かけませんか？

それぞれが選んだ3枚



「応援団」

野原公園で北海道大学の応援団が、足場の悪いなか、一生懸命応援していました。イメージしていたバンカラスタイルとは違い、モダンな応援姿が印象に残っています。



「花のある風景」

豊沢の畑の風景。町内でも一番面積が大きいのではないかとされる花畑、緑肥として植えた花が、この町の観光スポットにでもなればと願い、シャッターを押しました。



「夕日と釣り人」

苫小牧東港のフェリータミナル前の釣り風景。一人で夕日を浴びながら、自分だけの時を心地よく過ごしている釣り人にスポットをあててみました。雰囲気が高かったですね！



「真冬の早朝」

真冬の早朝の厚真新橋です。誰も歩いていない街中を除雪車だけが動いていました。ふと見てみると、除雪車が通った後の道路には、美しい縞模様しままようが描かれていました。



「ヤツメウナギ」

百年記念公園の池に注ぐ小川で、たまたまヤツメウナギを見つけました。吸盤状の口で川底に吸いつき、尾を細かく振っていました。もしかしたら産卵シーンなのかな？



「コントラスト」

春の京町公園。木立の陰とこぶしの花びらに彩られたレンガ色の歩道がとても綺麗でした。景色が、子供の頃の記憶と相まって紗がかかった様に美しく見えたんです。

なぜ人は写真に「心」を奪われるのか？



にしお しげる
西尾 茂 (鹿沼) / 1950年生まれ
写真歴 38年
愛用カメラ Nikon D60・90
専門 風景
撮影枚数 1万3千枚
写真とは? “その時代を表現するもの”



きもと こずえ
木本 梢 (本町) / 1977年生まれ
写真歴 5年
愛用カメラ PENTAX K100
専門 景色
撮影枚数 1万枚
写真とは? “感動を切り取る道具”

厚真写真同好会4人に聞く。

写真と自分



とくち みほる
徳地 美登 (新町) / 1941年生まれ
写真歴 47年
愛用カメラ Canon Eos I Dマークル
専門 野生(鳥・小動物)
撮影枚数 1万8千枚
写真とは? “くつろぎの時を得るもの”



へびいけ かつひろ
蛇池 克広 (京町) / 1967年生まれ
写真歴 11年
愛用カメラ PENTAX K5
専門 スポーツ
撮影枚数 1万2千枚
写真とは? “自分が見たものの鏡”

「珍鳥初来町！」
F4・500mm×1.4テレを付けて浜厚真を凝視。なんとカモメに混じってミヤコドリが、餌を探しながらこちらへ。じっと待つこと40分、遂に初撮影に成功しました。



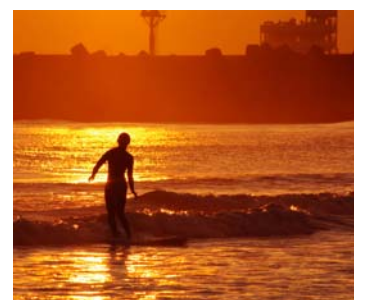
「疾走 (ハヤブサ)」
絶滅危惧種ですが、厚真川河口では時々見かけます。7時間待って逆光、今日も駄目かなと諦めていたところ、何と疾走しながら、やって来たではありませんか。感謝感謝。



「目前来翔」
コミズクは冬鳥として、遙かユーラシア大陸やアメリカ大陸から渡ってきます。ねずみを捕るのがとても上手。浜厚真海岸を往来するので、じっと待つのも楽しいです。



「夕日のサーファー」
動き続ける人と光がうまく揃うのは偶然頼みなんです。この時も夕日がきれいになってきたところで、サーファーが波に乗るのを祈りつつ、シャッターを切り続けました。



「ポストの中のカエル」
朝、新聞を取りに行くと、どこから入ったのかカエルが一匹。出してくれと言ってるように見えたのですが、少し我慢してもらい、窓に手をかけるのを待って撮りました。



「浜厚真ATVレース」
これを撮影したときは小雨模様で路面状態も悪かったのですが、ロープギリギリに陣取って撮り続けていました。おかげでカメラも顔も泥だらけに…。(笑)

